



2020年2月発行

【発行】学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

<http://www.unesco.or.jp/manabiya/>

E-mail: manabiya@unesco.or.jp

## 第16回教養・文化講座を開催 『南太平洋の親日国 ミクロネシア』



南太平洋のサンゴ礁の島



日本とミクロネシアの位置関係

去る2月9日(日)小平市中央公民館において、学び舎ユネスコ第16回教養・文化講座『南太平洋の親日国 ミクロネシア』と題して講演会が開催されました。

講師には元ミクロネシア大使の鈴木栄一氏をお迎えし、氏の2011年(平成23年)から約3か年に及ぶミクロネシアにおける駐在体験を通じた我が国との関係、ミクロネシアの人々の心情、自然の素晴らしさなどについて幅広くお話をいただきました。

元大使が赴任した直後に発生した東日本大震災では、ミクロネシアの全島国民をして我が国の被災地や被災者に向けた追悼ミサや義援金募金活動など、厚い支援の輪の広がりがあったことを聴き、日本から数千キロにも及ぶ遠く離れた南太平洋の人々の熱い思いが、今更ながら胸にひしひしと伝わり深い感動を覚えました。

歴史的なつながりでのミクロネシアは、第一次世界大戦後に国連から委任を受けた日本国の統治下となりましたが、それ以前の明治時代すでに我が国の先人たちが定住して活躍していたことに驚きました。

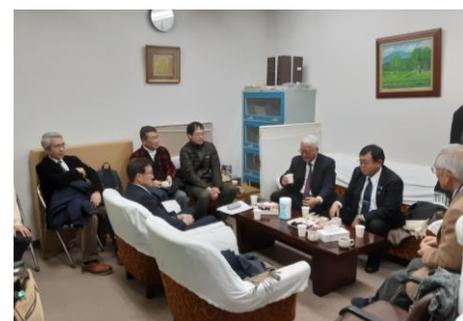
統治時代には、もともと学校がなかったミクロネシアに学校を創設し、基礎学力や規律などを学ぶ環境を整えました。第二次世界大戦後は一時期アメリカの統治下となりましたが、独立後は我が国のODA供与などを通して両国間の深い信頼関係が築かれ、今日まで子々孫々受け継がれてきています。

これらの基盤があって、政治・経済面においても良好な友好の歴史を紡いできたことを改めて認識しました。また、観光を資源とするミクロネシアは、海、空、緑の美しい自然が豊かで精神的な医療にも適った“癒しの国”として世界から愛されていること、更には我が国にとって価値観を共有し得る大切な国だということを強く認識するとともに、様々な困難を乗り越えて賢明な取り組みをしてこられた歴代の駐在大使の方々に敬意を表します。

講演の終わりには、小平市・小林市長のご挨拶があり、続いて来場者との質疑応答や意見交換などが行われました。ここでは、名誉総領事・岩田直行氏や仕事の関係でミクロネシアに在住されていた来場者からの発言もあり、近年の国や生活の様子などをうかがい知ることができました。開会前の大学生・高校生との懇談、閉会後には市長と学び舎ユネスコのメンバーが入り懇談会が行われるなど、和気あいあいとした講演会でした。



講演会の様子



終了後の懇談会

ご来場いただきました皆様には、寒い中を会場にお運びいただきまして誠に有難うございました。  
厚くお礼申し上げます。

(文責：事務局)